

白
い
赤

金田実生

木藤純子

寺田就子

松原奈々

三輪祐子

森末由美子

佐倉密コレクション

大岩オスカー

岡崎和郎

黒田泰蔵

展覧会名：「白い赤」

会期：2018年2月17日（土）～3月4日（日） | 12:00-18:30 | 月・火曜日および2/25は休廊

企画：佐倉密 GALLERY CAPTION

協力：ギャラリーほそかわ

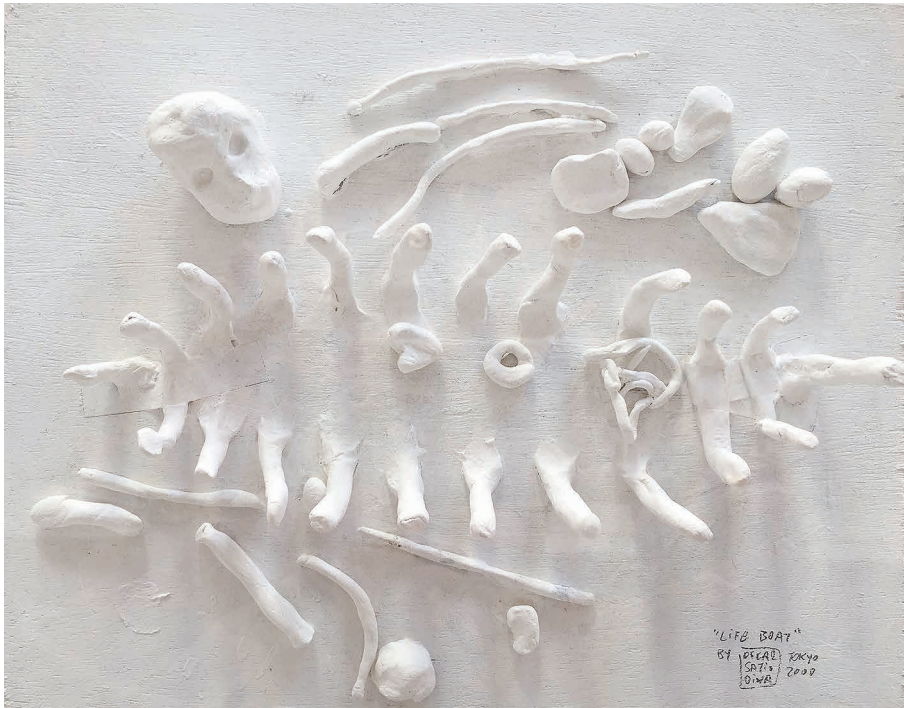
展示作品・出展作家：

森末由美子 木藤純子 寺田就子 金田実生 松原奈々 三輪祐子

大岩オスカー「LIFE BOAT」（紙粘土、2000年）／佐倉密コレクション

岡崎和郎「A Pair of Hearts 1965-1998」（石膏、1998年）／佐倉密コレクション

黒田泰蔵「白磁茶碗」／佐倉密コレクション



大岩オスカル「LIFE BOAT」

紙粘土、他 2000年

(佐倉密コレクション)

GALLERY CAPTIONでは2月17日より3月4日まで、コレクターとして知られ、現在は外詩(がいし)作家として活動する佐倉密氏のコレクション作品のひとつ「大岩オスカル「LIFE BOAT」」(紙粘土、他/2000年)を出発点とした企画展「白い赤」を開催します。展覧会タイトルの「白い赤」とは、大切な人への贈り物“ハート”を意味しています。これは大岩オスカルの「LIFE BOAT」の、紙粘土でできた白いハートから、佐倉氏が思い立ったものです。

この作品が制作された2000年前後、大岩オスカルは新しい世紀に向けて「ノアの方舟」をテーマにした作品をいくつか発表しています。「LIFE BOAT」も、なにかの生き物の亡骸のようでありながら、船の骨格にも見えます。そこに、ハートがひとつ。子どもの指先から生まれたような造形がもつ死のイメージのなかに、さりげなく表された、失われないところ。どんなにシリアスで風刺が効いていても、いつもどこかにユーモラスなあたたかさが残されている。それは見る人に残されたところの“救い”であるとともに、作家からの“贈り物”でもあるのかもしれません。

そしてそれに呼応するように、佐倉密コレクションより、岡崎和郎の貝合わせのようなハートのオブジェ「A Pair of Hearts 1965-1998」(石膏、1998年)と、黒田泰蔵の薄くふくらんだ「白磁茶碗」の2点を加え、さらに金田実生、木藤純子、寺田就子、松原奈々、三輪祐子、森末由美子ら6人の作家には「白い赤」をテーマに作品制作、または旧作からのセレクトを依頼し、展示構成いたします。

「LIFE BOAT」、命を救う船に残されたハート。

美術には愛がなければ。

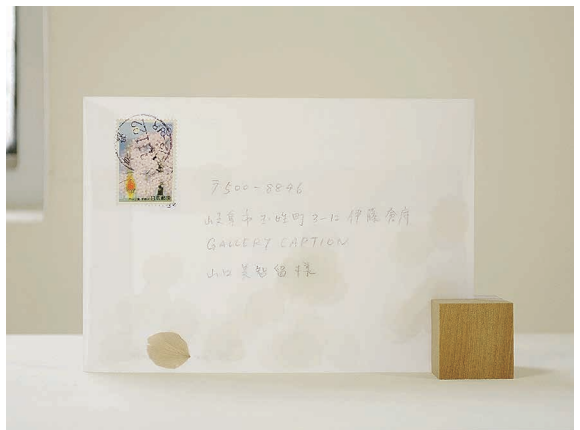
そして、あなたに愛を。

fig.1



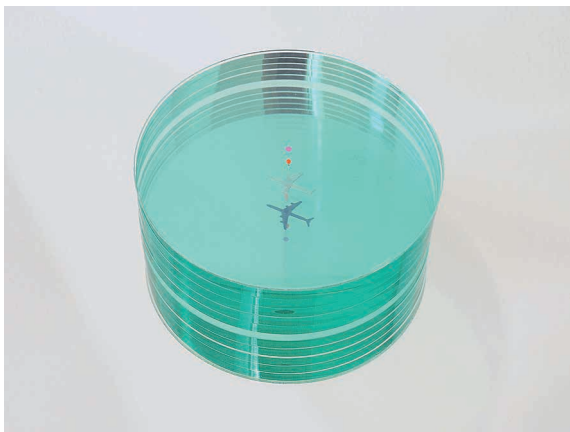
金田実生 | Mio Kaneda
1963年東京都生まれ
1988年多摩美術大学大学院修了

fig.2



木藤純子 | Junko Kido
1976年富山県生まれ
2000年成安造形大学造形学部造形美術科洋画クラス研究生修了

fig.3



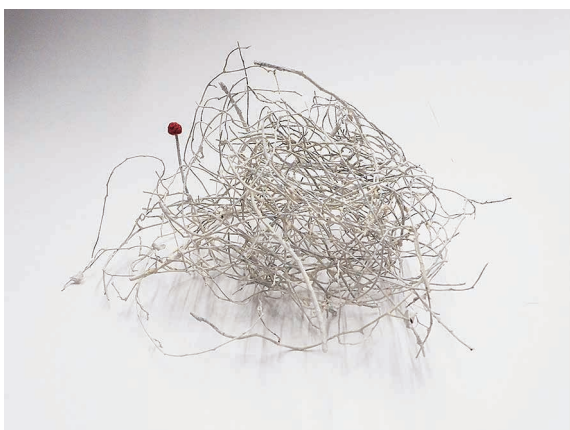
寺田就子 | Shuko Terada
1973年大阪府生まれ
1997年京都市立芸術大学卒業

fig.4



松原奈々 | Nana Matsubara
1974年静岡県生まれ
1999年東京造形大学造形学部絵画科研究科修了

fig.5



三輪祐子 | Yuko Miwa
1966年岐阜県生まれ
1987年名古屋造形芸術短期大学専攻科卒業

fig.6



森末由美子 | Yumiko Morisue
1982年京都府生まれ
2009年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻版画修了

fig.1

金田実生「池 2」

紙にガッシュ 23.5×30.0(cm) 2016年

fg2.

木藤純子「雪・月・桜」

紙吹雪、桜の花弁、封筒、切手、他 11.5×16.2(cm) ed.10 2011年/2012年

fig,3

寺田就子「気ままなぬり絵 - v」(部分)

鏡、アクリル板、時計皿、プラスチック、金属 30.0×30.0×h3.5(cm) 2017年

fg.4

松原奈々「I found something wonderful...」

綿、砂、メディウム、アクリルケース 5.0×5.0×d2.0(cm) 2014年

fig.5

三輪祐子「静カナ意識」

枝、アクリル絵具、毛糸 2015年

fig.6

森末由美子「羽根×葉」

羽根、葉脈 20.5×11.0×4.0(cm) 2016年

*画像はすべて参考画像

佐倉密 | Mitsu Sakura

1967年岐阜県生まれ

2000年「空き地」(豊田市美術館、愛知)にコレクターとして参加。

近年は外詩(がいし)作家として展覧会に携わる。

主な展覧会に「宥密法」(2003年/豊田市美術館、愛知)、「松澤宥と九つの柱」(2004年/広島市現代美術館)、

「言ノ葉ノかげ-ふたりの詩人のふたつの美術」(2005年/京都芸術センター)、「宇宙御絵図」(2007年/豊田市美術館)ほか。